

9 猪高学区連絡協議会（名東区）

地域自主防犯活動活発化促進事業

実施結果報告書

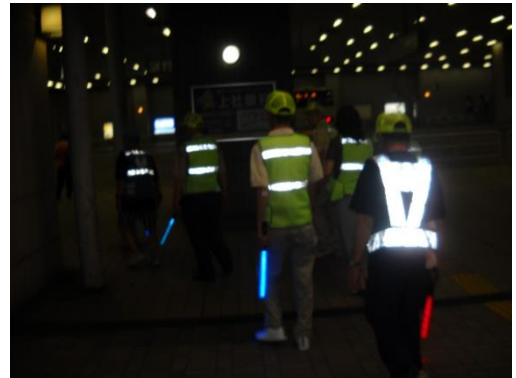
1 団体名	猪高学区連絡協議会
2 事業名	あいさつも笑顔も明るいまち 猪高
3 事業実施 結果	<p>1. 学区内の、こどもへの犯罪を防ぐため、通学時間帯での通学路を重点的に“あいさつは 笑顔をつなぐ 合い言葉”の“のぼり旗”を設置し毎月“0の日”に、こどもへの見守りとあいさつ運動をおこなった。</p> <p>設置した“のぼり旗”</p>  <p>のぼり旗” 設置と見守り実施の様子</p>  <p>見守り実施の様子</p>  

学区連絡協議会メンバー、学校 PTA 関係、地域のボランティアの総勢 30 余名で、交通量の多い交差点を重点的に、通学時での児童に対する防犯及び交通安全確保のための見守り対策を行った。

2. 夕方において、こども及び女性を付け狙う不審者の出没が多いために犯罪に遭遇しない“あかるい町づくり”をめざし、夕方から深夜にかけてパトロール活動を連絡協議会のメンバーを中心に青色ポーターサイン及び蛍光色ベストを着用し、2 班（1 班は 12 名程度）に分かれて行った。

夜間パトロール活動状況

地域消防団詰所に集合しパトロール開始



8 月 28 日地下鉄上社駅周辺の夜間パトロールを実施し、地域住民との交流も有り有意義なパトロールであった。

3. 一般住宅への侵入盗対策

侵入盗対策として、住民の防犯意識の高揚を図る為、各種の防犯プレート及び名東警察署作成の“一戸一灯運動”を学区内全世帯に配布した。



一部住民には防犯用語記載の‘のぼり旗’を配布した。



4. 防犯の日

11月21日を防犯の日として、名東警察署地域安全課の警察官による防犯教室を開催（各町内より26名参加）、終了後近隣を巡回し、個々の住宅の防犯点検をおこなった。

防犯教室の開催状況



近隣住宅での防犯講習状況



防犯教室では次の内容についての講義を受けた。

(1) 子供に対する不審者について説明

不審者に遭遇した場合

対応策として

- ☆ 大声を出す。
- ☆ 防犯ブザーをならす。
- ☆ 走って逃げる。・・・

対策として

- ☆ 周辺に注意する。
- ☆ 自分を見ている人がいる（キョロキョロしている）
- ☆ 後を付けられている。

いずれにおいても迷ったらすぐに“110番”通報する。
参加者のなかで子を持つ親からは説明に納得する姿が伺えた。

(2) 特殊詐欺について説明

ATMの場所を指定してくる。

銀行、コンビニ等では、店員の目があり携帯電話の使用が難しくなっている。

駅周辺及び病院等の他人の目が無く携帯電話が自由に使える。

電話で、お金の話が出たらすぐに動かないで、家族に相談する
又近くの知人に相談する、相談相手がいない場合は“110番”通報する。

(3) 空き巣、住宅侵入について説明

夕方暗くなる頃に車で巡回し室内の明かりが点灯するか、点灯しないかを判断し、侵入する。(3～4人で車を使用)

バールを用いてドアをこじ開け5分以内で出て行く。

現在では、昼間の住宅侵入が発生している。

上記の内容での防犯講習を受け、近隣住宅の防犯対策について、現地説明を受けた。

現地説明では、住宅侵入に対する質問が多数出ていた。

5. 年末特別警戒防犯パトロール

名東警察署実施の「年末の交通安全県民運動」に併せて、警察官先導による夜間パトロールを行った。

名東警察署挨拶及び出発式



学区内警戒パトロール状況



(1) 事業実施の成果及び課題

(成果)

子供への見守りとあいさつ運動では、毎月0の日を主体に連絡協議会の役員及びPTA関係のボランティアで行っているが見守り自体は、かなりの成果がある。

学区内住民への防犯プレートの全戸配布により意識の高揚に繋がったと考えられる。(学区内住宅の90%近くで門扉に掲示されている)

(課題)

参加者に、60歳～65歳の参加を求めている。

(2) 今後の取組

子供達からのあいさつの言葉が少ない。学校と連携しあいさつ運動への対策を探る。

防犯用“のぼり旗”を多数の住宅の門に掲げ、防犯意識を高揚したい。高齢者の負担を軽減する活動方法を模索し展開したい。

パトロール活動に地域役員のみでなく一般住民の参加も求めたい。

4 成果と課題
及び今後の
取組